

広報 やまこし

1984
11月
第197号

■発行／新潟県古志郡山古志村役場 電話 (0258) 59-2330 ■印刷／大川印刷株式会社 ■11月2日発行



第十二回山古志総合錦鯉品評会が、10月15日、錦鯉総合センターで開かれました。昨年より三千点余り多い四百四点が出品され、七品種、六部門で錦鯉の出来栄えが競われました。今年の山古志錦鯉ナバーワークは虫亀鱗友クラブの紅白。

村錦鯉品評会 総合優勝は、虫亀鱗友クラブの紅白

（写真は虫亀鱗友クラブの紅白）

審査員長は、審査講評で、「総合的に他の品評会より質が良く、総合優勝の紅白も田地・緋・良・綾の優秀な鯉だった。しかし、部類でばかりつきもあり、寄り添う厳選して出品してほしい」と述べました。

表彰式終了後、一部から四部の入賞鯉約百匹が発表されました。今年が初の試みですが、品評会で入賞したお墨付きの優秀鯉といふことで、威勢のいいせりの掛け声が響いていました。（入賞者は二三ページ）

人口の動き
(59.9.30現在)

■人口 3,410(+1) 男 1,719・女 1,691 ■世帯数 873(0)
■9月中のうごき □出生2 □死亡0 □転入2 □転出3

停電のお知らせ

11月15日(木)
午後1時～4時30分
区域一村内全域



広報やまこし 昭和59年11月 (8)

昭和60年4月に採用する山古志村職員を、次のとおり募集します。
（職種および採用予定人数）
看護婦 2名
（応募資格）
昭和30年4月2日以降に生まれた者で、看護婦の免許のある者、

または同免許取得見込みの者。
いずれも山古志村に住所を有するか居住見込みの者。

申込期間中に、次の書類を役場総務課に提出してください。
（試験申込の手続き）
（1）受験申込書
（2）履歴書
（3）卒業証明書または卒業見込証明書
（4）調査書（成績証明書）
（5）写真2枚（胸上、脱帽、タテ
4cm×ヨコ3cm）
（注）受験申込書および履歴書は、

インフルエンザ予防接種

（三種混合ワクチン第1回、第2回接種）

期日	会場	時間
第1回	第2回	
実施済	11月21日(水)	種芋原小学校 池谷小学校 13:30～14:30 14:40～15:00
11月6日(火)	27日(火)	虫亀小学校 山古志中学校 13:30～14:30 14:40～15:30
9日(金)	↓	東竹沢小学校 竹沢小学校 13:30～14:00 14:10～15:00
	12月1日(土)	竹沢小学校 東竹沢小学校 9:30～10:00 10:10～10:30

▶インフルエンザ料金（第1回に徴収）
幼児無料、小中学生500円、一般700円

健康相談

～日ごろから心と身体の健康管理を～

11月19日(月)	下村集落センター 桂谷集落センター	10:00～12:00 13:30～15:00
20日(火)	楳木集会所 木籠集会所	10:00～12:00 13:30～15:00

昭和60年4月に、長岡市と山古志村の農業共済事業が合併します。これに伴い、60年4月に採用する職員を、山古志村内から次のとおり募集します。
（職種および採用人数）
農業共済一般職員
（研修期間終了後、山古志村役場駐在勤務）
（応募資格）
昭和58年3月以降に高等学校を卒業した者、または60年3月に卒業見込みの者。

（その他）
（受験申込の手続き）
申込期間中に、次の書類を提出してください。
（1）受験申込書（願）
（2）履歴書
（3）健康診断書
（4）成績証明書
（5）卒業証明書
（6）写真2枚（胸上、脱帽、タテ
4cm×ヨコ3cm）
（注）受験申込書および履歴書は、

村職員を募集します



お知らせ

試験の方法

作文試験および面接試験

受験申込期間および場所

11月1日から11月24日正午まで

その他

受験のための旅費等は一切支給しません。

試験当日は昼食を持参ください。

試験日時および試験場

いつも山古志村内に住所を有するか居住見込みの者。

第一次試験～面接試験

12月8日(土)午前9時30分から

第二次試験

12月18日(火)午前10時から

第三次試験

12月18日(火)午前10時から

常識、作文

長岡市農業共済組合

長岡地域農業共済組合

一般職員を募集します

必ず受験者本人が記入してください。

（試験の方法）

作文試験および面接試験

受験申込期間および場所

11月1日から11月30日まで

申込場所

長岡市農業共済組合または山古志村役場総務課

申込期間

11月1日から11月30日まで

試験場

長岡市農業共済組合

試験の方法

第一次試験～国語、数学、一般

試験日時および試験場

12月8日(土)午前9時30分から

第一次試験

12月18日(火)午前10時から

第二次試験

12月18日(火)午前10時から

第三次試験

12月18日(火)午前10時から

常識、作文

長岡市農業共済組合

おじぎまします

42

「今まで山古志にいて山古志の人間じやなかつた」

統一劇場公演で、青年会活動に参加――

高野玲子さん 下村

十一月二十日の統一劇場ふるさと一きやらばん公演『親父と嫁さん』に向けて、主催の連合青年会（川上浩昭会長）は大忙しです。玲子さんが参加したきっかけは、

九月二十七日の青年会の会合に行きました。何も知らず”とにかく来てみてくれ”と誘われて…だまされたと思いました。でも、みんなすごく一生懸命で…”。以降、十月に入って、下村に事務所を構え、ポスター書き、看板作り、中旬からは前売券売りに毎夜村内

を回っています。前売券の目標枚数は八百枚。ほぼ一軒一枚の勘定ですから、大変な枚数です。「三年前の『兄んちやん』のメンバーが”よくまたや

を回っています。

前売券の目標枚数は八百枚。ほぼ一軒一枚の勘定ですから、大変な枚数です。「三年前の『兄んちやん』のメンバーが”よくまたや

を回っています。前売券の目標枚数は八百枚。ほぼ一軒一枚の勘定ですから、大変な枚数です。「三年前の『兄んちやん』のメンバーが”よくまたや

を回っています。前売券の目標枚数は八百枚。ほぼ一軒一枚の勘定ですから、大変な枚数です。「三年前の『兄んちやん』のメンバーが”よくまたや



統一劇場ふるさと一きやらばん公演
『結婚』、『兄んちゃん』に続く
山古志公演第3弾！

親父と嫁さん

全12場

ミュージカル

作・演出：石塚克彦 音楽：寺本たてお 振付：天城美枝

11/20(火) PM6:30開演

会場：山古志中学校体育館

前売券	一般	中・高生
	2,300円	1,800円

*当日券200円増
*小学生以下の方は入場できません。
*お子様は臨時託児所にてお預りいたします。
*当日は座布団をお持ち下さい。

〈主催〉「山古志村連合青年会」

●お問い合わせ 659-2080(夜間のみ)

〈後援〉山古志村・同教育委員会・同消防団・
同婦人会・同商工会・同老人会
新潟県農協中央会・新潟日報社・BSN新潟放送

集合して九時半ころまで券売り、そしてまた集まって売り上げのチケットや翌日の段取りで、終わるのが大体十一時半。日曜も、看板立てなどで、休む暇もありません。会員は十五人程で、毎日集まるメンバーで券売りに手伝ってくれる人もいます。

「人に勧めるには、まず公演を実際に見なくちゃ」と、十月一日、和島村の公演を見に行って期待以上に良かつた」という玲子さん。

「親父と嫁さん」という題ですが、私がいちばん良かつたと思ったのは夫婦のやりとり。家族の人みんなから見てもらいたいですね。それから、消防の操作やはしご乗りが出てきますから、消防団の人もぜひ。劇の内容がここら辺と似てるからいいんでしょうね。ミュージカルといつても、農業がテーマでわかりやすいです。一千三百円は高い」と言

(5) 昭和59年11月

ゲンゴロウの生態を調査

山古志中の探索クラブ

「ゲンゴロウは生きていた――かつてどこの水辺でも見かける」とができたゲンゴロウ。今では真下のほとんどで絶滅したのではないかといわれていたが、山古志村に広範囲に生息していた。（新潟日報 58.8.5）

――昨年、新聞でも紹介され、大きな話題を呼んだゲンゴロウ。

生息地も、その後の調査で八十四

箇所に増えました。今、山古志中探索クラブの生徒十五人と指導の金井邦紀先生は、ゲンゴロウの生態解明に挑んでいます。

「ゲンゴロウの生態はほとんどわかつていません」――理科室の水槽の中に十匹くらい入れて観察します。去年の五月からずっと生き続けているゲンゴロウもいます。

まず、去年の十一月から今年の四月まで、越冬のしかたを調べました。それによると、「ゲンゴロウは、土に穴を掘るようなことはなく、水の底でじっとして冬を越す」また「越冬の四ヶ月で体重が三分の一にまで減ってびっくりしました」とあります。

エサは、「においで感じ、死んだ小動物、ケガや病気の小動物、ミズやタニシなどにおいの強いものから食べる」こともわかりました。

そして、最大のテーマである産卵から幼虫、成虫への生態解明に挑みました。水槽に、ススキ、ガマ、アヤメの茎、根を入れ（茎の中卵を産む）、毎日三回ずつ観察を続けました。

卵から幼虫、成虫への生態解明に挑みました。水槽に、ススキ、ガ

マ、アヤメの茎、根を入れ（茎の中卵を産む）、毎日三回ずつ観察を続けました。

その後もゲンゴロウがいたらぜひ学校に持ってきてほしいと思います。

それと、タガメ。まだ見つかっていないのですが、見かけたらぜひ連絡してください

――とあります。この調査は、全校生徒や

生徒たちは最初「へー、そん

なものが」という感じでしたが、

疑問を飛げかけるとどんどん興味

を抱いてくれました。

ここにゲンゴロウがいるという

のくらいい生きるか見続けたい」と。

金井先生は、

「生徒たちは最初「へー、そん

なものが」という感じでしたが、

疑問を飛げかけるとどんどん興味

を抱いてくれました。

また、「現在

農薬の影響

を実験中、

プロセスを

調べたい」。

また、「現在

成虫までの

幼虫を発見。産卵、ふ化に成功で

す。しかし、幼虫は何も食べず二

日で死んでしまったそうです。

「死んだのはそれなりの理由が

あるはず。今度は校庭に観察池を作り、来春からはそこで産卵させ

ます。しかし、幼虫は何も食べず二

日で死んでしまったそうです。

十日に三匹、五ミリほどの緑色の

幼虫を発見。産卵、ふ化に成功で

す。しかし、幼虫は何も食べず二

日で死んでしまったそうです。

